

STOP!

FAXから個人情報情報が漏れている。



御社のFAXは、誤配信ゼロですか。

FAX誤配信は企業の信用度を低下させるだけでなく、漏れてはいけない個人情報を誤って流出させる、実は深刻なトラブルです。個人情報保護を強化するなら、インターネットやメールだけでなく、FAXのセキュリティも大切です。

個人情報保護強化のために、IP-ファックスを導入しませんか。

IP-ファックスは、業界初となる独自方式で、送信先のFAXを自動確認。誤配信をゼロにします。したがって、誤って個人情報を流出させる心配はありません。また、この他にも通信費とプリントコストの大幅削減を実現できます。

FAX誤送信防止ソリューション

IP-ファックス

どうして誤送信を防止できるのか

■誤送信が起きる原因と「IP-ファックス」での対応策

(1) 送信先登録時に
間違って登録してしまう



簡単な操作で送信先を登録でき、かつ受信確認シートとメールを組み合わせ、登録時の誤りを排除できます。

(2) 送信先指定時に
間違って選択してしまう



送信時に確認画面をポップアップ表示する事で再確認を促します。

(3) 転居によりFAX番号が
第三者に変わってしまう



相手のFAX機に登録されている「発信者番号」と「発信元表示名称」を自動取得して、送信時にチェックする事で古いFAX番号に送信してしまう事を防ぎます。

■導入メリット

FAX誤配信をゼロにし、セキュリティを確保できます。

拠点間通信費を大幅に削減します。

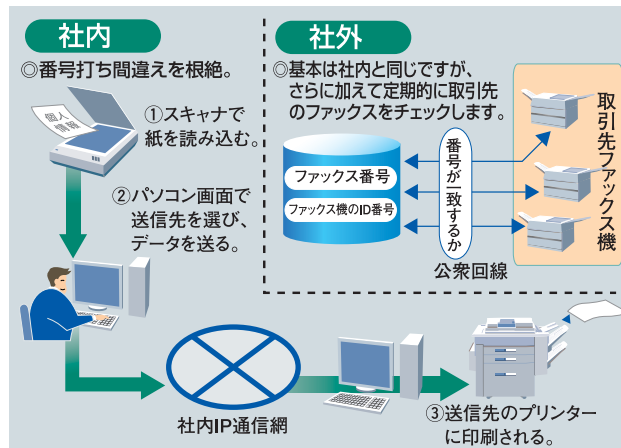
プリントコスト削減を実現します。

相手のFAX機はそのまま、FAX誤送信防止を実現できます。

社内FAXについては、従来に比べ約100倍のスピードで送信できます。

従来1時間以上かかっていた一斉同報送信も瞬時に全拠点に送信できます。

■ファックス誤送信防止の仕組み



無料体験版をご提供

日立キャピタルが選んだIP-ファックスを無料体験版で、実感してみてください。

開発元

日立キャピタル

日立キャピタル株式会社
<http://www.hitachi-capital.co.jp/>

Cooh

株式会社呼応
<http://www.cooh.co.jp/>

システム構築

HitachiJoho
 Information Systems

株式会社日立情報システムズ
<http://www.hitachijoho.com/>